

## 第7回女性活躍井戸端会議 ～委員さんからいただいた意見～

平成 29 年 12 月 26 日(火)13:15～15:05 (箕輪町役場 講堂)

伊藤徳治委員	どうしてもこのような計画書の書き方になると思うが、地域の役員の受け手が男性でも少なくなっている。女性でも受けてもらわないと地区もまわらない。そういうのも盛り込めないだろうか。
浦野委員	女性の意識の改革が必要。甘えとは違う、社会参画していく意識。委員目標の数値3割は高い目標だと思うが、頑張るべき数値だと思う。イクボス・働き方改革、勉強して私自身も変わりたいと思う。
柴優子委員	女性活躍井戸端会議、このような場を企画してもらって、言いたいことを言える場ありがたい。これを活かして形になって欲しい。
明平委員	私自身、産休を開けて働いていて思うことがある。職場や周りの人にこの取り組みを知ってもらって、他の市町村から移住してきてもらえたらいいと思う。
高田委員	女性活躍という言葉が難しい。男性も女性も意識改革が大切だなと感じた。長い時間を掛けないと難しいのかなと思う。「箕輪町楽しいよ。」って思えること、みんなで盛り上げて行けたら良い。
漆戸委員	子供を二人預けて働いているが、本当に忙しい。アクションプランのママの休日を提案したが、ママの休日=母の日でもいいと思う。パパと子どもが参加したいプランでないとダメだと思う。
井上委員	前から男女共同参画に携わって、女性の割合を増やす働きかけをしてきた。官庁指導だから企業へ働きかけが出来るのが良い。それが嬉しいと思う。父の日あたりにママの日制定でもいいと思う。男女共同参画推進協議会で答申に入るが、委員の選出はあて職ではなく、しっかり考えてほしい。
柴茜委員	男性の意識だけじゃなく、女性の意識こそ変えなくては。新しい人が常会に入り、地域とのつながりを作ろうとしない。時代の変化の中、誰もが責任を果たしていなくてはいけない。意識ある人から引き込んで行く。
林委員	家事・育児・仕事と評価を付けるのは難しいがプランが実行されるといいと思う。
北澤委員	自分が普段生活している狭い範囲とは違い、いろんな人の話が聞けるようになった。女性の意識改革をして、一歩前へ踏み出し、役員をやってもらいたい。女性活躍は協力が必要。
荻原委員	ずっとパートナーシップで関わってきた。目標の3割だが、世の中男女は半々だから、理想は5割。お互いに理解を持って、女性も前向きに勉強会等へ参加して欲しい。
石川委員	アクションプランのママの休日・イクメンの輪等がきっかけとなって、女性の社会進出が進めばよいと思う。きっかけがあれば、女性は社会に進出していける。
小林リーダー	みなさんの任期は2年です。今年で終わりではなく、計画が出来たらアクションプランを実行していく。予算的に全部は難しいが、出来たアクションプランを詰めて、出来るところから進めていきたい。みなさんの意見で「自分の意識が変わった」というのが嬉しく思いました。